真空パック器 Elite 300 Plus（エリート300プラス）

取扱説明書 〈保証書付〉

型式：MV300（P0606ED）

■お客様へ

・このたびは、マジック・バック真空パック器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
・この「取扱説明書＜保証書付＞」をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（2〜3ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書といっしょに大切に保管し、必要なときにお読みください。

■目次

・安全上のご注意……………………………………… 2〜3
・各部のなまえ……………………………………… 4
・ご使用前の注意……………………………………… 5
・ご使用上の注意……………………………………… 5
・ご使用方法（別売りロール袋の下準備）……………… 6〜7
・ご使用方法（袋を用いた真空パックの方法）………… 8〜9
・ご使用方法
（別売り万能フタまたは別売り専用容器を用いた真空パックの方法）……10〜11
・真空パック後の保存方法・解凍方法 ……………………12
・お手入れの方法 ……………………………………12
・故障かな？ と思ったら ……………………………13
・消耗品・アクセサリーのご紹介と購入方法 ……………14
・保証書・アフターサービスについて ……………………15
・製品仕様 ……………………………………………15
・保証書 ………………………………………………16

■ 安全上のご注意（必ずお守りください。）

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
●表示と意味は次のようになっています。

	警 告：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注 意：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例

感電注意	△記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
プラグを抜く	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警 告	
分解禁止	**●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。** 発火したり、異常作動してけがの原因になります。
水かけ禁止	**●本体上部を水につけたり、水をかけたりしないでください。** ショート・感電の原因になります。
禁　止	**●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。** やけど・感電・けがの原因になります。
接触禁止	**●使用直後はシールバー、シールガスケットや袋のシール部に絶対に触れないでください。** やけどの原因になります。
ぬれ手禁止	**●電源プラグをぬれた手で抜き差ししないでください。** 感電の原因になります。

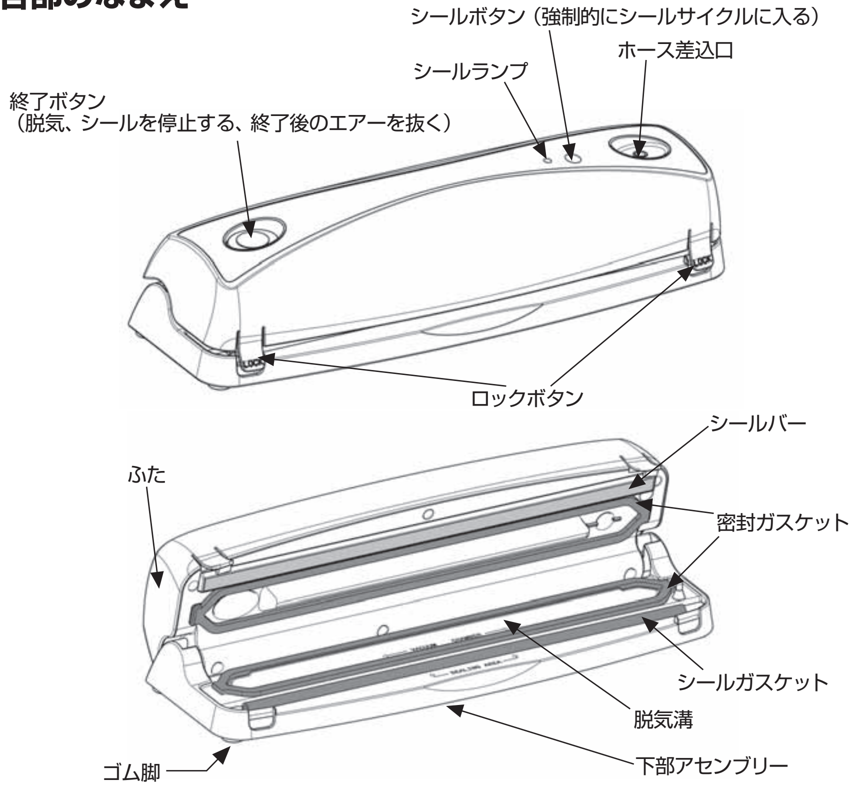
注 意

プラグを拭く	**●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合には、電源プラグを抜き、よく拭いてください。** 火災の原因になります。
禁　止	**●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるい時は使用しないでください。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。 また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	●交流100V以外では使用しないでください。 火災・感電の原因になります。
	●別売りの万能フタを使用する際は、薄いプラスチックやガラス容器を使わないでください。 容器が圧力差で破裂し、けがの原因になります。
プラグを抜く	**●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
プラグを持つ	**●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** 感電やショートして発火の原因になります。

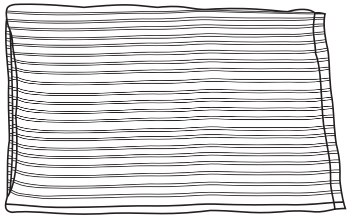
●お読みになった後は、お使いになる人がいつでも見られるところに必ず保管してください。
●この商品を他の人に譲渡するときは、新しく所有者となる人が安全な正しい使い方を理解できるよう、この「取扱説明書〈保証書付〉」を商品本体の目立つところに必ず貼付してください。

注：電源コードやプラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用せず、お買い上げの販売店もしくは弊社まで修理をご依頼ください。
修理技術者以外の人がコードを交換すると感電、発火、けがの原因になります。

■ 各部のなまえ

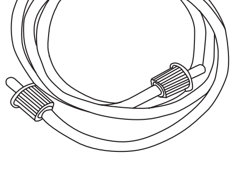


●付属品



カット袋（20 × 30cm） 5枚
あらかじめ袋状になっており、片端を接着する必要がなく便利です。

マジックカッター
別売りロール袋のカットにご使用ください。



ホース
別売りの万能フタや専用容器を用いて密封するときに使います。

■ご使用前の注意

○真空パックをする場合は、必ず専用袋をご使用ください。マジックバック真空パック器は、専用袋の溝から中の空気を吸引する構造になっています。一般のポリエチレン袋では吸引できません。

○マジックバック真空パック器は業務用ではなく、家庭用です。真空パックを続けて行う場合は、3分以上間隔をあけてください。

○本製品を真空パックの用途以外には使用しないでください。

■ ご使用上の注意

● **野菜や果物の密封について**

果物や野菜は呼吸しているため、そのままでは密封できません。真空パックする際は、野菜はゆでる、果物はカットするなどしてから真空パックしてください。

● **肉類の密封について**

赤身の肉を真空保存すると、色が変色することがありますが、これは空気（酸素）が抜けたためで、開封すると空気が入り込み元の色に戻ります。但し、肉類に含まれる血分が脱気時に抜けると元の色に戻りにくくなることがあります。

● **魚類の密封について**

魚類は一晩冷凍させてから真空パックしてください。やわらかいため形がくずれることがあります。

● **袋を再利用する場合**

一度真空パックに利用した袋を再利用する場合は、中性洗剤をつけたスポンジで袋をきれいに洗い、水またはぬるま湯でよく洗い流してください。ペーパータオルなどで水分をよくふき取り、完全に乾かしてから再度ご利用ください。

● **真空パックしないで密封する方法**

中に空気を残して密封する場合は、6～7ページの「■ご使用方法（ロール袋の下準備）」と同じ手順で袋を密封してください。

■ ご使用方法（ロール袋の下準備）　※ロール袋は別売です。

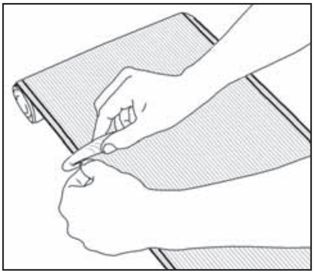
カット袋、下準備の終わったロール袋を使用する場合は、8ページの「■ご使用方法（袋を用いた真空パックの方法）」をご覧ください。
●マジックバック専用袋をお使いください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

・ 本体を水平で乾いたところに置いてください。
・ 本体の手前に、袋と保存する食品を置く十分なスペースをとってください。

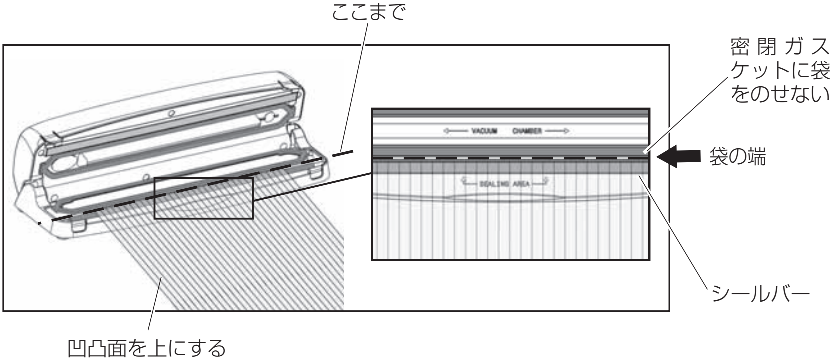
2. ロール袋を必要な長さに切る

・ 食品を入れるのに十分な長さのロール袋を引き出し、付属のマジックカッターかハサミで一直線に切ってください。
・ 食品の入る長さプラス最低8cmほど長めに切ってください。袋を再利用する場合は、さらに2cm長めに切ってお使いください。



3. シール（溶着）の準備をする

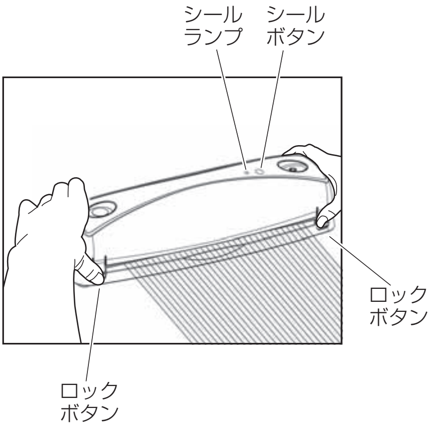
・ ふたをいっぱいに開けてください。
・ 袋の一方の開口部を、凹凸のある面を上にして、シールバーの上に置きます。
・ 袋の開口部を密閉ガスケットの上に置かないでください。そこから空気が抜けて、シールする過程まで進みません。



4. シール(溶着)する

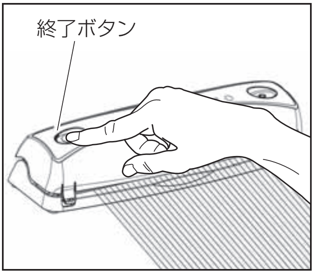
・ ゆっくりとふたを閉め、両端を押しながら、左右のロックボタンをカチッというまで内側に押してください。同時に運転が始まります。
・ 数秒後にシールランプ(SEAL)が赤く点灯しシール運転に入り、約5～7秒後に運転が止まりランプが点滅します。

注意：なかなかシールランプ(SEAL)が点灯しない場合は、袋の置き方が正しくないと思われます。終了ボタンを押してもう一度、袋のセットをやり直すか、または、シールボタンを1回押して、強制的にシールサイクルにしてください。



5. 袋を取り出す

・ 終了ボタンを押して、ふたを開けてください。



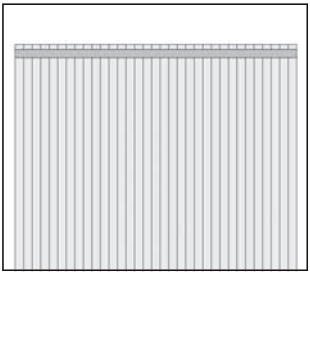
⚠注意

シール直後は、シールバー、シールガスケット、袋のシール部が大変熱くなっていますので、触れないでください。

6. シール部分の確認をする

・ シール部にシワがなく、まっすぐな筋になっているか確認してください。

注意：シール（溶着）が不十分ですと、空気漏れの原因となります。



7. 電源プラグを抜く

・ 電源プラグをコンセントから外してください。

■ ご使用方法（袋を用いた真空パックの方法）

別売のロール袋は6～7ページの「■ご使用方法（ロール袋の下準備）」にしたがってあらかじめ袋を準備してください。

●マジックバック専用袋をお使いください。

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

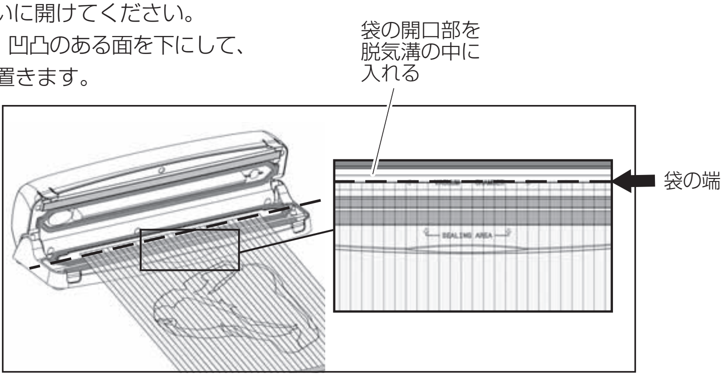
- 本体を水平で乾いたところに置いてください。
- 本体の手前に、袋と保存する食品を置く十分なスペースをとってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む。

2. 食品を袋に入れる

- 食品を袋に入れ、袋内の水分をふき取ってください。
- 汁物はそのままでは袋で脱気できません。一旦凍らせてから行うか、別売りの万能フタもしくは専用容器をお使いください。
- 骨や乾燥パスタのような先の尖った部分のある食品を真空パックする場合は、袋が破れないようにするため、尖った部分をペーパータオルなどで覆ってから密封してください。
- 傷んでいる食品は保存しないでください。

3. 袋を真空パック器にセットする

- ふたをいっぱいに開けてください。
- 袋の開口部を、凹凸のある面を下にして、脱気溝の中に置きます。

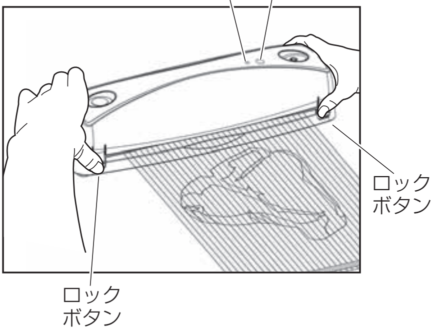


4. 脱気する

- ゆっくりとふたを閉め、両端を押しながら、左右のロックボタンをカチッというまで内側に押してください。同時に脱気運転が始まります。
- 数秒後にシールランプ(SEAL)が赤く点灯してシール運転に入り、約5～7秒後に運転が止まりランプが点滅します。

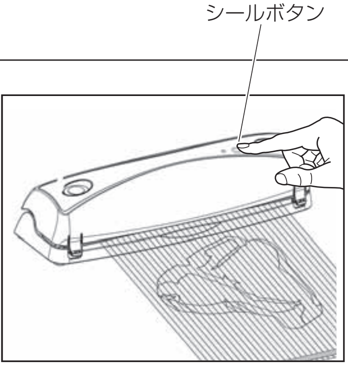
途中キャンセルする場合

- 終了ボタンを押してください。
- それでも止まらない場合は押し位置を下に押して、ロックを外してください。



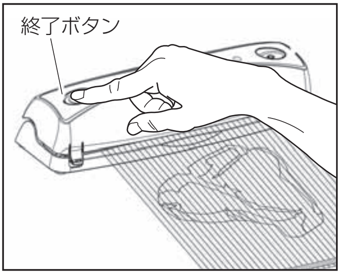
早めにシールしたいときは
食品がつぶれやすいときや、空気を中に残したい場合は、適当なタイミングでシールボタンを1回押してください。強制的にシールサイクルに入ります。

注意：シール中も空気が逃げないように脱気しています。
脱気を中止したい場合は、モーターが止まるまで終了ボタンを押してください。



5. 袋を取り出す

・ 終了ボタンを押して、ふたを開けてください。



⚠注意

シール直後は、シールバー、シールガスケット、袋のシール部が大変熱くなっていますので、触れないでください。

6. シール部分の確認をする

・ シール部にシワがなく、まっすぐな筋になっているか確認してください。

注意：シール（溶着）が不十分ですと、空気漏れの原因となります。

7. 電源プラグを抜く

・ 電源プラグをコンセントから外してください。

以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

■ ご使用方法（別売り万能フタまたは別売り専用容器を用いた真空パックの方法）

● 別売りの万能フタまたは別売り専用容器を利用すると、何回でも脱気ができ経済的です。液状の食品や乾燥して割れやすい食品など小さいものをたくさん脱気したいときに便利です。

● 万能フタはご家庭にある直径4～12cmの開口部をもつ強化ガラス製の容器などといっしょにお使いください。

● 万能フタと専用容器のフタの使い方は同じです。

注意：

・ 万能フタを利用する際は、薄いプラスチックやガラス容器を使用しないでください。
容器が圧力差で割れ、けがをする恐れがあります。

・ ご使用前に、食品に触れる容器をきれいに洗ってください。

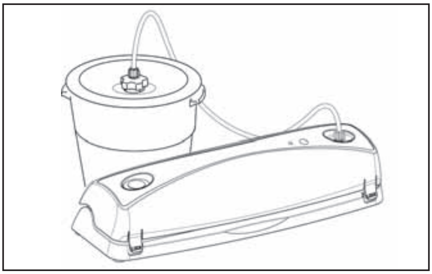
1. 電源プラグをコンセントに差し込む

・ 本体を水平で乾いたところに置いてください。

・ 電源プラグをコンセントに差し込む。

2. ホースを差込む

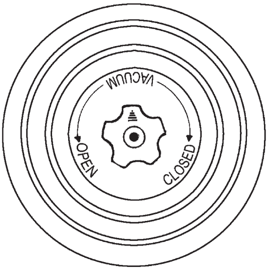
・ 付属のホースを、本体とフタ中央のホース差込口にそれぞれしっかりと差し込んでください。



3. 食品を容器に入れる

・ 容器に食品を入れ、食品とフタの間に少なくとも3cm以上のすきまができるようにしてフタをしてください。

・ フタのダイヤルを右回りに回して、矢印を“VACUUM”に合わせてください。



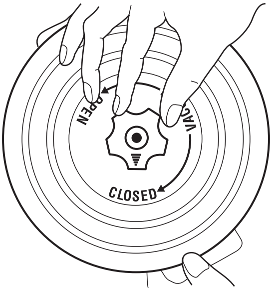
4. 脱気する

・ ふたの両端を押しながら、左右のロックボタンをカチッというまで内側に押してください。同時に脱気運転が始まります。

・ しばらくすると、シールランプ(SEAL)が赤く点灯してシール運転に入り、約5～7秒後に運転が止まりランプが点滅します。

5. ダイヤルを“CLOSED”に合わせる

- ホースを本体とフタ中央のホース差込み口からそれぞれ引き抜いてください。
- フタのダイヤルを右回りに回して、矢印を“CLOSED”に合わせてください。

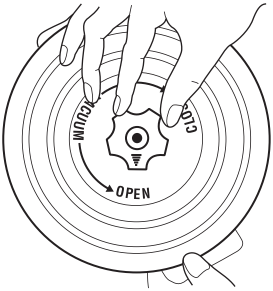


6. 電源プラグをコンセントから抜く

- 電源プラグをコンセントから外してください。

以上で作業は終了です。食品は適温にて保存してください。

密閉した容器または万能フタを開けるには、ダイヤルの矢印を左に回して“OPEN”に合わせてください。すると、空気が容器に入る“シュー”という音がします。この音で、容器が脱気密閉されていたことがわかります。



■ 真空パック後の保存方法・解凍方法

● **保存方法**

真空パックした食品は、必ず適温保存（冷蔵または冷凍）してください。本真空パック器を使用しても完全真空にはならず、少量の空気が残ります。室温での保存は腐食を早めますので、ご注意ください。

● **解凍方法**

袋で真空パックした食品を解凍する場合は、冷蔵庫でゆっくり解凍してください。スープ類は、袋ごとお湯で温めるなどしてください。その際は角に一ヶ所穴を開け、蒸気が出るようにしてください。一度温めたり、解凍した食品は、腐敗しやすいので、早めにお召し上がりください。

■ お手入れの方法

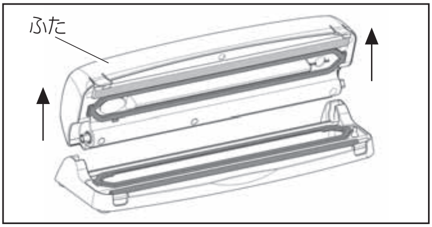
お手入れをする前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● ふたのプラスチック部分は、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を布に含ませて、汚れをふき取り、その後空拭きしてください。（ベンジン、アルコール、シンナー、研磨剤入り洗剤は使用しないでください。）

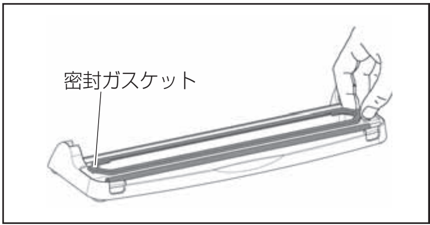
● 誤ってふた内部に水が入った場合は、電源を入れず、ご購入になられた販売店もしくは弊社に修理のご依頼をしてください。

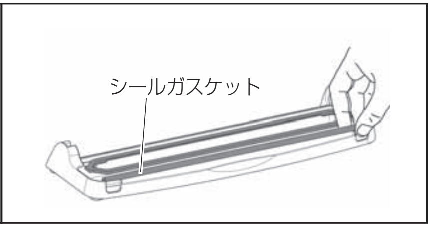
● 下部アセンブリーのお手入れ

1　ふたを下部アセンブリーから外してください。



2　下部アセンブリーから密封ガスケットとシールガスケットを取り外してください。





3　ガスケットを取り外した下部アセンブリーは、中性洗剤とぬるま湯で洗い、完全に乾かしてください。

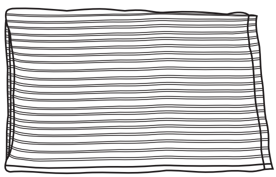
4　お手入れ後は、取り外したガスケットを必ず元に戻してから、ふたを下部アセンブリーに差し込んでください。

● 別売り万能フタや別売り専用容器は中性洗剤とぬるま湯で洗い、乾燥させてください。食器洗浄機は使用しないでください。

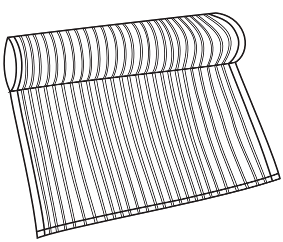
■ 故障かな？　と思ったら

電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていることをお確かめください。 ● 他の電化製品の電源プラグをコンセントに差し込み、電気が来ていることをお確かめください。 ● 本体は過熱すると自動的に止まるようになっています。冷えるまで15分ほど待ち、再度お試しください。 ● 電源コードとプラグを点検してください。もし、異常があれば修理を依頼してください。
ロール袋の最初の端が接着できない	● 袋が6ページの「■ ご使用方法（ロール袋の下準備）」の“4. シール（溶着）の準備をする”の説明に書かれている通り、正しく置かれているかをお確かめください。
袋の空気を吸い出さない	● 専用の袋を使っていることをお確かめください。 ● 袋の開口部が脱気溝の中に入っているか確認してください。 ● シールバー、シールガスケット、密閉ガスケットにキズや変形がないかお確かめください。 ● 袋に穴が開いていないかお確かめください。 再度シール（溶着）するか、別の袋をお使いください。
袋をうまくシール（溶着）できない	● もしシールバーが過熱していて袋を溶かしているようであれば、ふたを上げてシールバーが冷めてからお使いください。 ● 本体は過熱すると自動的に止まるようになっています。冷めるまで15分ほど待ち、再度お試しください。
シール（溶着）した後、袋に空気が入る	● シール部分からの漏れはシワ、ゴミ、脂、液体などが原因の可能性があります。袋を開け、再度シールする前に袋内の上部をよく拭いてください。 ● 袋に穴がないかをお確かめください。袋の中身に尖ったものがある場合、ペーパータオルなどをあててから脱気し、袋に穴が開かないようにしてください。
容器の空気を吸い出さない	● ホースを本体のホース差込口とフタのホース差込口にしっかりねじ込み、差し込んでください。 ● フタと食品の間に少なくとも3cmの空間を取ってください。 ● フタのダイヤル矢印が“VACUUM”を指していることをお確かめください。 ● フタのダイヤルを右いっぱいに回してから、左に回して矢印を“VACUUM”に合わせてください。 ● フタのガスケット（ゴム部分）に傷がないか確認してください。 ● ガスケット部分はぬるま湯を浸した布できれいに拭いてください。 ● 液体は冷ましておく必要があります。もし真空パック運転中に液体がブクブク泡立ったら運転を止め、冷蔵庫で液体を冷やしてから再度お試しください。
脱気密封した後、容器に空気が入る	● フタのダイヤルの矢印が“CLOSED”を指していることをお確かめください。 ● フタのガスケットが正しい位置にあり、傷がないことをお確かめください。
フタが開かない	● 終了ボタンを押してください。 ● フタを上から一回強く押してください。

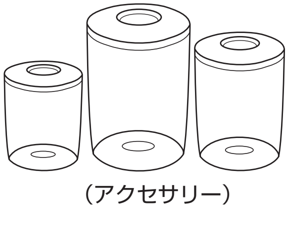
■ 消耗品・アクセサリーのご紹介と購入方法



●カット袋（無地） AC01059（幅20×長さ30cm/50枚入り）
希望小売価格　2,100円（税込）



●ロール袋（無地） AC01025（幅30×長さ600cm/2本入り）
希望小売価格　2,520円（税込）
●ロール袋（無地） AC01026（幅20×長さ600cm/2本入り）
希望小売価格　2,100円（税込）



（アクセサリー）

●専用容器3個セット　AC01082
（0.75リットル / 直径112×高さ130mm）
（1.5リットル　/ 直径135×高さ180mm）
（3リットル　　/ 直径159×高さ230mm）
希望小売価格　6,090円（税込）

（アクセサリー）

●万能フタ　ACJ1011（適応開口直径寸法　4～12cm）
希望小売価格　2,100円（税込）

購入方法：真空パック器をご購入になられた販売店もしくは弊社（TEL 03-5643-1331、http://www.jgap.co.jp）にてお求めください。

■ 保証書・アフターサービスについて

○この商品には保証書を添付しております。
　保証書は本取扱説明書16ページにございます。
○保証書はお買上げの販売店で発行しお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認ください。
○この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
○保証期間はお買上げ日より１年間です。
　保証期間中の修理でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
○保証期間経過後の修理については有料修理となります。
　保証期間外の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
○修理品に関する問い合わせ：
　日本ゼネラル・アプライアンス（株）技術部　TEL（03）5643-1331（代）
○修理品の送り先：
　〒210-0869　神奈川県川崎市川崎区東扇島22-4
　東洋運輸倉庫（株）JGA修理センター　宛
　TEL（044）281-2171
　（こちらでは修理品に関するお問い合わせには対応できません。）
　故障内容を明記の上、お送りください。
　保証中の場合は、保証書（またはコピー）もしくは購入日を確認できるものを添付してください。
○補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
　注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 製品仕様

品名	真空パック器
型式	Elite 300 Plus　MV300（P0606ED）
電気定格	AC100V　50/60Hz
定格電流	1.5A
脱気圧	約78kPa
本体材質	ABS樹脂
外形寸法	幅387×奥行113×高さ98（mm）
重量	1.7kg

MAGIC VAC 真空パック器　保証書　**持込修理**

型　　式	MV300 (P0606ED)
お買い上げ日	年　　　月　　　日
保証期間　（お買い上げ日より）	本体　1年（消耗品は除く）
お客様 ご住所 （フリガナ） お名前	□□□-□□□□　TEL（　　　）　- 様
販売店　店名 住所	TEL（　　　）　-

●この保証書はお買上げの日から１年間、下記の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合には、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

（1）万一、上記に示す保証期間内に正常な使用状態で、材料あるいは製造上に起因する故障が発生した場合には、無料修理致します。

（2）無料修理は、お買上げの販売店または下記に記載してある弊社にご依頼ください。
また、無料修理をお受けになる際は、必ず本書をご提示ください。

（3）離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等に係わる費用は実費を頂きます。

（4）次の様な場合には、保証期間中であっても、有料修理となります。
- (ｲ) 誤った使用方法あるいは取扱上の不注意による故障や損傷。
- (ﾛ) 不当な修理や改造によって生じた故障や損傷。
- (ﾊ) お買上げ後の輸送、落下等による故障や損傷。
- (ﾆ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧等による故障や損傷。
- (ﾎ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両や船舶への搭載）に使用した場合の故障や損傷。
- (ﾍ) 本書の提示がない場合。
- (ﾄ) お買上げ年月日、お客様名、販売店名等で記入が必要と定めた事項の記入がない場合、又は字句が書き替えられた場合。

（5）本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan

日本ゼネラル・アプライアンス株式会社

東京本社　〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　IKビルディング9F
TEL（03）5643-1331（代）　FAX（03）5643-1335
大阪支店　〒542-0081　大阪府大阪市中央区南船場1-16-10　大阪岡本ビル６Ｆ
TEL（06）6125-2620（代）　FAX（06）6125-2607

PUB.NO.53U1202